



「ノデ」で終わる文について(二〇一一年度卒業論文
要旨集)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2013-01-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石川, 知美 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00007401

「ノデ」で終わる文について

日本語学研究室 八四〇五 石川 知実

本研究は、「ノデ」で終わる文をいくつか分類し、それらの働きを明らかにすることを目的とした。分析は、小説や漫画の会話文の用例を収集して行った。

分析の結果、「ノデ」で終わる文は、「省略」の有無の観点から、「省略文」（主節が「省略」されている文）と「言い終わり文」（それだけで発言内容が完結している文）に分類できた。次に「省略文」は、「ノデ」の機能によって、「省略文a」（「ノデ」が「理由」を表す文）と、「省略文b」（「ノデ」が「情報提示」の働きをする文）に分けられた。さらに、「省略文a」は言語化または実現した事態について述べた文（省略文aの①）と言語化または実現していない事態について述べた文（省略文aの②）に細分できた。

それぞれの働きを見ると、「省略文aの①」は、聞き手の理解を助ける機能を持つことがわかった。また、「省略文aの②」は、話し手の失礼な印象を和らげる働きをすることがわかった。さらに、「省略文b」は、聞き手に控え目に行為を促す働きを持つことがわかった。「言い終わり文」では、「ノデ」が発言に対する判断を聞き手に任せる態度を表すことを明らかにした。本研究は他に、「ノデ」で終わる文は丁寧体が多いことなどを指摘し、「ノデ」が丁寧度の高い表現であることを示した。